

科目名	IR I			担当教員	クロスビー ロナルド	
単位	1単位	講義区分			ナンバリング	ED2EEC106
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容	英語の習得					
到達目標及びテーマ	中学校、高等学校の授業で、リーディングを教えるために必要な語彙力、文法力、読解力、読解ストラテジーを身に着けることを目標とする。					
授業の概要	この授業では主題文、支持文の把握、原因と結果、定義型、分類型、問題解決型のパラグラフ構造を理解する。さらに、文法事項の確認も行う。文章のジャンルによって文章や文法パターンが異なるため、パターンに即した読み方、リーディングストラテジーを修得する。さらに関連した英文を読み、分析し、発表・討議することで幅広く英語で読むことを教える力を身につける。加えて必要に応じて新聞、雑誌などの文章を読む。さらに、授業外で多読を行う。各自の語彙集を作成する。					

授業計画	
第1回	Introduction to the class. Classroom rules. Grades.
第2回	Begin chapter on Travel Abroad. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第3回	Continue the Chapter on Travel Abroad. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第4回	Begin chapter on Sailing the Caribbean. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第5回	Continue the Chapter on Sailing the Caribbean. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第6回	Begin chapter on Sailing Across the Pacific. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第7回	Continue the Chapter on Sailing Across the Pacific. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第8回	Begin chapter on Australia. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第9回	Continue the Chapter on Australia. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第10回	Begin chapter on SE Asia and Bangkok. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第11回	Continue the Chapter on SE Asia and Bangkok. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第12回	Begin chapter on India. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第13回	Continue the Chapter on India. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第14回	Review and Book Report Editing
第15回	Final Exams

事前学修	0.5時間	各回参照
事後学修	0.5時間	単語テスト準備
フィードバックの方法	毎週学生とメールにてコンタクトをとり、課題や不明点について回答する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		100%	Students will read a book and write a report on it. Also a vocabulary journal.
補足事項			

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
Reading the World	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-78-3	same as 1st semester
参考資料				

科目名	IR I			担当教員	パーク アレクサンドラ ジェーン	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2EEC106	
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブ・ラーニングの要素	PBL(課題解決型学習)					
実務経験	幼稚園から高校まで14年間外国語指導助手、大学で4年間英語教師、講演者、校正者、編集者、などを歴任。					
実務経験を生かした授業内容	校正者、編集者、研究者が要約をし、影響力を与えるために声を出して読み上げます。					
到達目標及びテーマ	英文の内容把握を出発点に、その英文で使用されていた英語表現を様々なタスクの中でアウトプットし、語彙や表現を自分のものにすることができる。また、様々なトレーニングの手法を実際に体験し、リーディング指導の一助とすることができる。					
授業の概要	学生は効率的に読むためのさまざまな方法を学びます。これらには、要点を読む、流し読み、スキャンする、視覚的読書感想文、紙、音声、デジタルを使用したバリアフリーの方法を使用した音読が含まれます。					

授業計画	
第1回	イントロダクション Word test to determine self-study reading level. Text Project Activities. Reading 1.
第2回	Word families - Text Project. Reading 1 Temple Abbot
第3回	2 Doctor / Researcher. 3. Fishermen.
第4回	4. Flight Attendant. 5 Nightclub Manager
第5回	6 Photographer. 7 Kindergarten Teacher.
第6回	8 Kimono Teacher. 9. Tarot Card Reader.
第7回	10. Psychiatrist. 11 Tofu Maker.
第8回	12 Traditional Sweets Chef. 13 Organic Soybean Farmer.
第9回	14 Beekeeper. 15 Taxi Driver
第10回	16 Reporter. 17 Motorcycle Repairer.
第11回	18 Social Worker. 19 Textbook Writer/Filmmaker
第12回	20 Hotel Clerk. 21 Hariko Craftsperson
第13回	21 Freeter. 23 Tapestry Craftsperson.
第14回	24 Nursing Mother Specialist. 25 Spinach packager.
第15回	Semester Test - Drawing Display

事前学修	0.5時間	各Unitのすべてのタスクに取り組む。語句等でわからないものがあれば、確実に調べておく。Quizlet Self-Study of Vocabulary.
事後学修	0.5時間	授業中の教材を声に出して再読すること。英語を読む習慣をつけるために、自分のレベルにあったリーダー本を1日5分読む。
フィードバックの方法	英文解釈をはじめ、音読、リテリングなどの活動に対して授業中にコメントする。必要に応じて個別にメール等を用いてフィードバックする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		30%	知識・理解・正確な読解の技能
上記以外の試験・平常点評価		50%	授業中の取り組み（ペア／グループワーク・発表・質疑応答）
上記以外の試験・平常点評価		20%	多読（紙・デジタル）とリポート
補足事項	読書活動は、オンラインのクイズや語彙トレーニングされます。日本人は勤勉に働くことで有名だが、果たして一体彼らはどのようにそこまでやれるのだろうか。彼らの職業生活について日本人に語ってもらうこのインタビューは、日本各地及び他のアジア諸国でも		

行われた。この本は、多くの驚くべき魅力的な日本文化の内面や考え方、そして個々の日本人の本質に注目するよう提案している。このインタビューは、ロボット化された日本の労働者に対する不幸な固定観念を打ち破るものだ。国際的なコンサートバイオリン奏者、お寺の住職、ナイトクラブの経営者、アメリカ生まれの活動家や数人のホームレスなどいろいろな人へのインタビューが含まれている。

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
Japanese at Work	John Spiri	Global Stories Press	978-490542607-3	特になし
参考資料	バーク・アレクサンドラと申します。連絡が必要な場合は、burke@gifu.shotoku.ac.jp からお願いします。授業には、携帯電話、タブレット、ノートPCなどの端末とヘッドホンを持参してください。安いヘッドフォンでもOKです。端末のOSが最新バージョンであることをご確認ください。 ご連絡が必要な場合は、メッセージにお名前、学生番号、授業時間をご記入ください。			

科目名	IR II			担当教員	クロスビー ロナルド	
単位	1単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2EEC107
期待される学修成果						
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容	英語の習得					
到達目標及びテーマ	本授業ではIR1を踏まえ、中学校、高等学校の授業で、リーディングを教えるために必要な語彙力、文法力、読解力、読解ストラテジーを身に着けることを目標とする。					
授業の概要	この授業では IR IIに引き続き、主題文、支持文の把握、原因と結果、定義型、分類型、問題解決型のパラグラフ構造を理解する。さらに、文法事項の確認も行う。文章のジャンルによって文章や文法パターンが異なるため、パターンに即した読み方、リーディングストラテジーを修得する。さらに関連した英文を読み、分析し、発表・討議することで幅広く英語で読むことを教える力を身につける。加えて必要に応じて新聞、雑誌などの文章を読む。さらに、授業外で多読を行う。各自の語彙集を作成する。					

授業計画	
第1回	Introduction to the class. Classroom rules. Grades. Review of Interactive Reading I.
第2回	Begin chapter on India. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第3回	Continue the Chapter on India. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第4回	Begin chapter on Kathmandu. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第5回	Continue the Chapter on Kathmandu. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第6回	Begin chapter on Europe. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第7回	Continue the Chapter on Europe. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第8回	Begin chapter on Germany. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第9回	Continue the Chapter on Germany. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第10回	Begin chapter on Egypt. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第11回	Continue the Chapter on Egypt. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第12回	Begin chapter on Returning to Germany. New Vocabulary. Reading passage and Comprehension Questions
第13回	Continue the Chapter on Returning to Germany. Phrase meaning. Reading Skill. Extra Reading.
第14回	Review
第15回	まとめ テスト

事前学修		各回参照
事後学修		単語テスト準備
フィードバックの方法	毎週学生とメールにてコンタクトをとり、課題や不明点について回答する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		100%	Students will read a book and write a report on it. Also a vocabulary journal.
補足事項			

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
Reading the World	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-78-3	same as 1st semester
参考資料				

科目名	IR II			担当教員	パーク アレクサンドラ ジェーン	
単位	1単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2EEC107
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	外国語教師アシスタント 幼稚園から高校まで14 年間、大学英語教師4年、校正者、編集者					
実務経験を生かした授業内容	校正者、編集者,研究者および政策立案者					
到達目標及びテーマ	英文の内容把握を出発点に、その英文で使用されていた英語表現を様々なタスクの中でアウトプットし、語彙や表現を自分のものにすることができる。また、様々なトレーニングの手法を実際に体験し、リーディング指導の一助とすることができる。					
授業の概要	学生は効率的に読むためのさまざまな方法を学びます。これらには、要点を読む、流し読み、スキャンする、視覚的読書感想文、紙、音声、デジタルを使用したバリアフリーの方法を使用した音読が含まれます。					

授業計画	
第1回	イントロダクション Reading 26. Coffeeshop Owners
第2回	Reading 27 Telemarketer. 28 Innkeeper.
第3回	29 Pyramid Marketing Salesperson. 30 Jazz Bar owner,
第4回	31 Hairstylist. 32 Early Childhood Educator.
第5回	33 Antique Dealer/Shopkeeper. 34 Rescue Worker.
第6回	35 Violinist. 36 Zoo Veterinarian.
第7回	37 Izakaya Manager/Chef. 38 Traditional Soy Sauce Manufacturer.
第8回	Poster Session. Small Test.
第9回	39 Environmental Specialist. 40 Japanese Professor.
第10回	41 Labor Union Representative. 42 Social Worker for the Homeless.
第11回	43 Day Laborer. 44 Car Counter.
第12回	45 Magazine Vendor. 46 NGO Consultant.
第13回	47 Cardboard Collector. 48 Ex-Deli Manager.
第14回	49 Human Rights Worker in Hokkaido. 50 Factory Worker from Brazil
第15回	Short Presentation

事前学修		各Unitのすべてのタスクに取り組む。語句等でわからないものがあれば、確実に調べておく。Quizlet Self-Study of Vocabulary.
事後学修		授業で扱った箇所の英文を音声とともに音読し、定着させる。
フィードバックの方法	英文解釈をはじめ、音読、リテリングなどの活動に対して授業中にコメントする。必要に応じて個別にメール等を用いてフィードバックする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		30%	知識・理解・正確な読解の技能
上記以外の試験・平常点評価		50%	授業中の取り組み（ペア／グループワーク・発表・質疑応答）
上記以外の試験・平常点評価		20%	多読（紙・デジタル）とリポート
補足事項	日本人は働き者であることで有名ですが、一体何をしているのでしょうか？日本人が自分たちの職業生活について語る率直で、しばしば暴露的なインタビューは、日本中の多くの都市だけでなく、他のアジア諸国の都市でも実施されました。この本は読者に日本の文化や考え方について多くの驚くべき魅力的な洞察を提供し、個々の日本人についての親密な視点を提供します。このインタビュー		

は、ロボット化された日本の労働者に対する不幸な固定観念を打ち破るものだ。各章には、国際的に有名なコンサートヴァイオリニスト、禅寺の住職、ナイトクラブのオーナー、アメリカ生まれの活動家、教師、その他多くの人々へのインタビューが含まれています。

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
Japanese at Work	John Spiri	Global Stories Press	978-490542607-3	特になし
参考資料	パーク・アレクサンドラと申します。連絡が必要な場合は、burke@gifu.shotoku.ac.jp からお願いします。授業には、携帯電話、タブレット、ノートPCなどの端末とヘッドホンを持参してください。安いヘッドフォンでもOKです。端末のOSが最新バージョンであることをご確認ください。 ご連絡が必要な場合は、メッセージにお名前、学生番号、授業時間をご記入ください。			